

第三者評価報告書



第三者評価実施結果について本書の通り報告いたします。

報告日：2026年3月31日

一般財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構



【運営法人情報】

施設名称	あゆみ第二幼稚園
運営法人名称	学校法人後藤学園
施設種別	新制度移行幼稚園（施設型給付）
代表者氏名	後藤 規好
施設所在地	北海道札幌市東区伏古9条3丁目2-19
電話番号	011-783-6006
ホームページアドレス	https://www.ayumi-youchien.com
メールアドレス	hana6006@ayumi-youchien2.com
事業開始年月日	昭和53年12月13日
園児数	214名
学級と人数	満3歳児2クラス29名、年少3クラス53名 年中3クラス57名、年長3クラス75名
保育者数・職員数	24名

【理念・基本方針】

あかるく元気で素直な子・豊かな心で優しい子・みんなと仲良く遊べる子を教育目標とする。園児一人ひとりの個性を伸ばし、人間としての発達の基盤をつくる。園児の創造性を大切にし、自主的積極的意欲を養う。園児を取りまく美しい環境の中で自然に人間の価値を体得させる。健康安全な生活のため、基本的な生活習慣を養い、たくましい身体と心の基盤を育てる。

【評価機関情報】

評価機関名	(一財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構
評価実施期間	2025年6月24日～10月2日
評価報告書作成者	EH26010055

【評価者】

教育学等を専門とする大学教授等	0人
他園の教員等、幼児教育関係者	42人
小学校教員、指導主事等学校の教育活動に造詣の深い者	0人
その他	0人
計	42人

【総評】

●総合評価

職員同士で「保育の質を向上させたい」と言った共通の目標を抱きながら保育を営んでいる印象があり、日頃から保育に対して真摯に向き合い続ける職員集団だと感じることができた。この度のECEQ®の取り組みを通して、日頃からより深い視点で子どもの姿を読み取り、子どもの育ちを明確にした上で環境の構成や援助の在り方について模索し続ける必要性を感じる契機となった。

今後も連携を図りながら園の保育の質向上を支えるために、管理職を中心にマネジメントすると共に、幅広い視点を持って2～5歳の子ども達の発達の連続性を意識した保育を営む職員集団を目指して行ってほしい。

●特に評価が高い点、園の良さ等

- ・子ども達が様々なことに興味や関心を抱きながら意欲的に遊びに向かうことが出来る環境構成。
- ・子ども達が主体的に園生活を楽しめるよう、保育者間で連携して保育を創造しようとする姿勢。
- ・子どもの想いを汲み取り、翌日の保育に活かそうとする臨機応変な対応。
- ・受容と共感の姿勢で子どもの内面を読み取り、より良い援助を模索しようとする姿勢。
- ・園長を中心とした学び続ける保育者集団を構成するマネジメント。

●課題、改善を求められる点

- ・更なる高みを目指して、子どもの主体的な遊びや活動を支えるための環境や援助の在り方。
- ・一人ひとりの子どもの発達段階を踏まえた、育ちの理解や保育者の援助の在り方。
- ・子ども理解の精度を上げるために、保育の省察の質を向上させる新たな仕組み作り。
- ・子どもの想いを尊重することは大切だが、保育者の願いを明確にし、子どもと一緒に生活を営む中で一人ひとりの成長を願って想いを伝えていくことも必要。

●第三者評価結果に対する法人・施設のコメント

園として子ども達の想いや発想などを大切にしながらそこに保育者の願いを合わせ、保育を創造しようとしていること、そのために保育の質をより良く向上させたいと努力している姿勢について評価頂いたことは、今後の自信や励みにつながるものである。

課題に関してはご指摘頂いたことで、子どもの「発達段階や育ちの理解」を踏まえての適切な「環境構成」や「援助」などについて今まで以上により深く考察しながら職員が同じ方向を向き、共に考えながら取り組むべきことが明確になり、職員全員が今後の理想とする園づくりへ向かう道しるべを持つことができたと感じている。